



聞いてよ！
伝次郎



記事を書く
時にいつも心
掛けなければ
ならないのは、「正しさ」と
「分かりやすさ」です。
どんなに素晴らしい特ダネ

急いで記事を書いたりすると、間違えやすくなります。落ち着いて原稿を見直し、誤りがないかチェックする作業は欠かせません。
また、立派な文章でも、読む人に理解してもらえなければ新聞記事としては意味がありません。取材で聞いた難しい言葉は、できるだけ子ども

正しさ、分かりやすさ心掛け

新聞記者の人たちは記事を書く時、どんなことに注意しているのですか。教えてください。

八巻 美仁君
(福島市・大久保小5年)

であっても、内容や文字、言葉遣いなどが間違っているのは台無しです。取材相手からしっかり話を聞き、現場を見て事実を正しく知ることが大切です。締め切り時間が迫り、

私たちにも分かるような言葉に換えます。取材で得た情報を整理し、可能な限り短く、読みやすい文章にまとめるのは記者の腕の見せどころでもあります。(地域交流室)